


# 日米の相違IN学校 & 美術館： 美術教育はどこへ行くのか？



徳雅美 [mtoku@csuchico.edu](mailto:mtoku@csuchico.edu)

Dept. of Art and Art History,  
California State University, Chico

- 
1. 日本から米国へ（カリフォルニア州立大学チコ校紹介）
  2. 日米における美術教育の方向性の相違：  
感性教育 vs. Visual Literacy 教育
  3. 米国における鑑賞教育の現状：  
大学一般教養コースの定番「鑑賞教育 (Art Appreciation)」
  4. NPO法人アマミーナ設立：その目的と意義
  5. 描画発達と美意識発達論：普遍性と文化的特異性  
（ヴィジュアルポップカルチャーの影響）
  6. 巡回少女漫画展示会の目的と意義：  
「少女漫画の世界 (World of Shojo Manga)」

# 1. カリフォルニア州立大学システム紹介 (California State University System)

- 1857年にカリフォルニア州の総合州立大学ネットワークシステムとして創立
- 23校のキャンパス。学生総数50万が学ぶアメリカ合衆国最大の総合州立大学システム

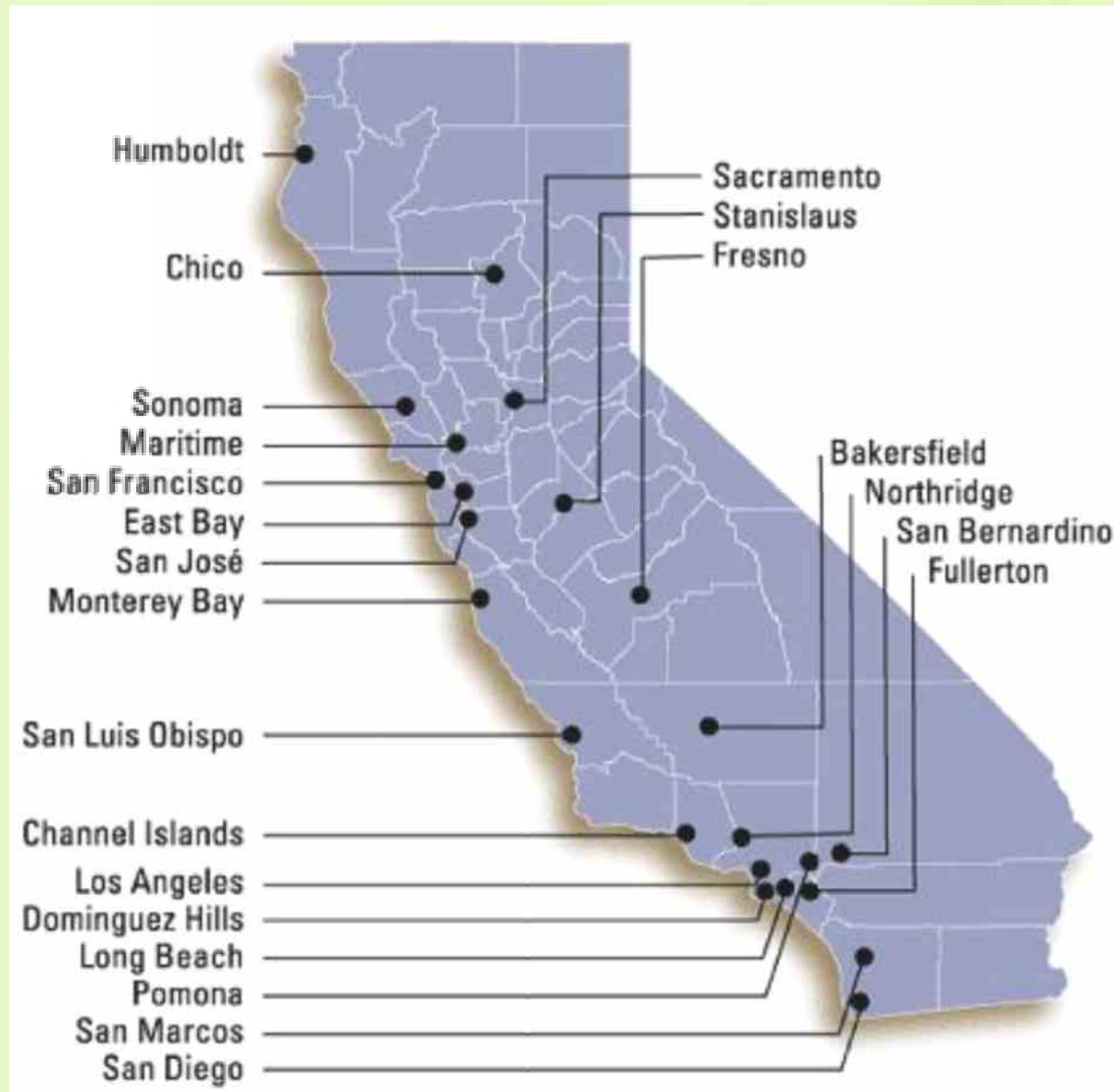


# カリフォルニア州立大学システム

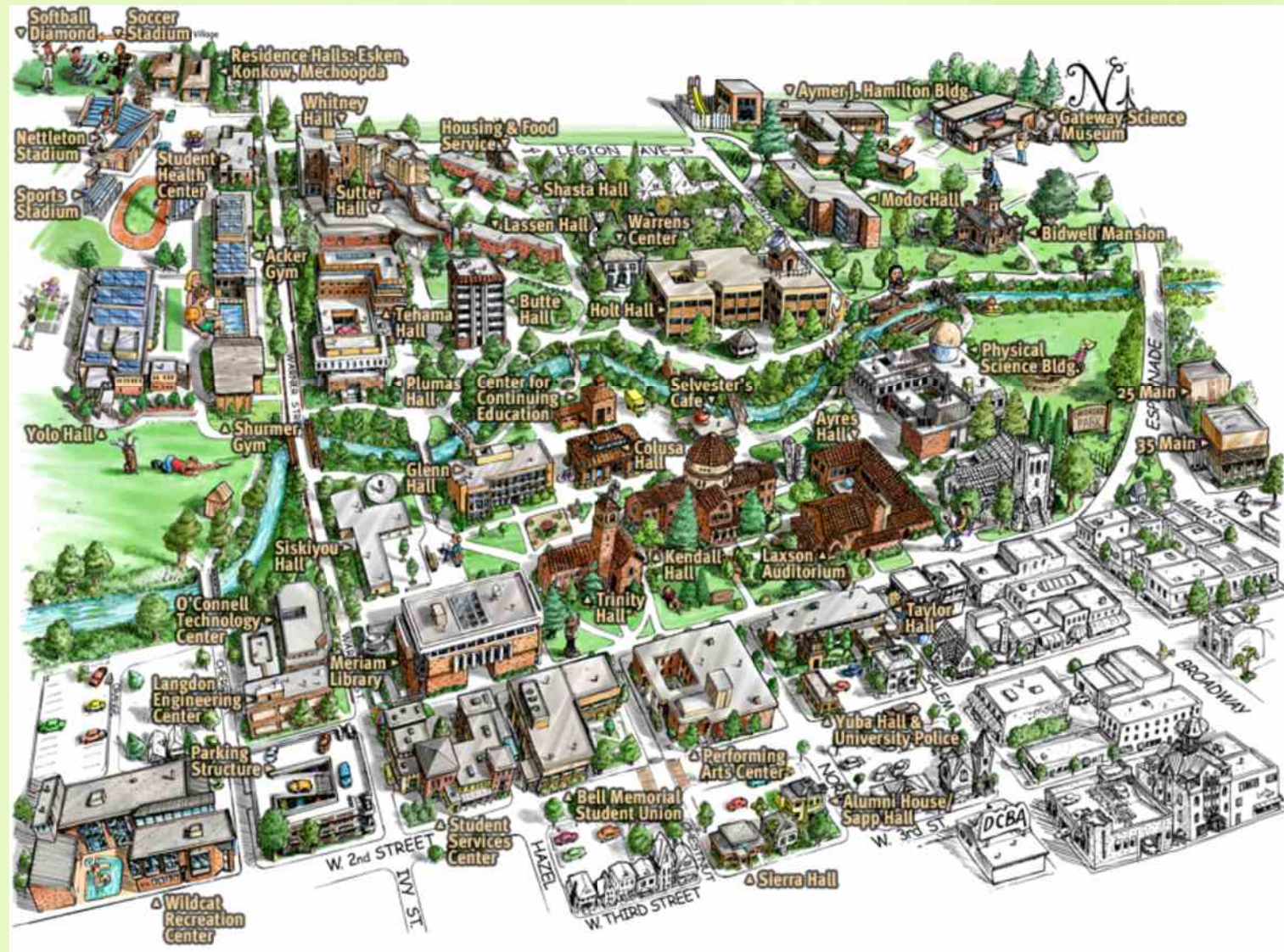
- カリフォルニア大学(UC)システム(9校)が研究機関的性格を持つのに対して、カリフォルニア州立大学(CSU)システムでは、師範学校としてスタートした設立経緯から州内初等・中等教育に従事する、教員の養成及びに専門職従事者の養に定評があり、その他23各校それぞれに得意分野を持つ総合大学。
- 近年では教育学博士号等、一部の博士課程もUCシステムとの協力により擁するようになった。



# カリフォルニア州立大学23校地図



# CSU Chico キャンパスマップ(地図)





## 2. 日米比較美術教育事情： 感性教育 vs. Visual Literacy 教育



徳 雅美 <[mtoku@csuchico.edu](mailto:mtoku@csuchico.edu)>

カリフォルニア州立大学チコ校

[NPOAmamina](#)



## 1. 米国における美術教育の変遷:

- 1) DBAE (Discipline Based Art Education) 以前以後
- 2) スタンドアードの必要性: ナショナルが先か州が先?
- 3) No Child Left Behind (NCLB) プログラム: <http://nclb.ecs.org/>
- 4) NCAS (National Core Arts Standards)
- 5) STEM vs. STEAM vs. STREAM

## 2. カリフォルニア州スタンダード (Performing and Visual Arts Standards) & 美術教育プログラム

- 1) Certificate vs. Credentialing:
- 2) **CSU-Chico** 美術教育プログラム
- 3) **CSU-Chico** 教員養成プログラム (大学院レベル)

## 3. 米国における美術教育の方向性 (\* ヴィジュアルリテラシー教育)

# 1. 米国における美術教育の変遷

1) DBAE (Discipline Based Art Education)

( \* 最初の具体的動きは1984年):

**Art-making (造形)**

**Art History (美術史)**

**Aesthetics (美学／芸術の価値)**

**Criticism (批評)**

2) スタンドールの必要性: ナショナルが先か州が先?

\* 1972年カリフォルニア州のフレームワークに掲載

\* 1994年ナショナルスタンダード

## 1-1. 米国における美術教育の変遷

3) No Child Left Behind (NCLB) プログラム: <http://nclb.ecs.org/>

4) NCAS: National Core **ARTs** Standards (2013-2014):

\*従来の4つ「舞踊、音楽、演劇&美術 (Dance, Music, Theater, Visual Art)」に加えて新たに「メディア (Media Art)」が追加 (\*カリフォルニア州では2019年から実施予定:

<https://www.cde.ca.gov/be/st/ss/vapacontentstds.asp> )

5) STEM vs. STEAM:

Science (科学),  
Technology (テクノロジー)  
Engineering (エンジニア)  
Art (アート)  
Math (数学)





## 2.カリフォルニア州スタンダード(2004改正) California Content Standards for Visual Art

<http://www.caea-arteducation.org/>

- Grades (学年): K-4, 5 – 8 & 9 – 12
- Grade 9-12(高校)は以下の二種のレベル:

Goal Proficient: 通常レベル

Goal Advances: APレベル

\* AP (Advanced Placement)テストに合格したら、この高校の単  
位が 大学の基礎レベルをとったことになる可能性が大きい。

# 2-1:5つのスタンダード (K-12th G.)

(日本は「造形」と「鑑賞」の二つの柱に対し、米国では、例えばカリフォルニア州では、下記の5柱に明記されている。)

## 1. Artistic Perception

美術の構成要素:

- Elements of Art
- Principles of Design

## 2. Creative Expression

アートの種類: 2D, 3D, 4D, Media ,  
and New Arts

## 3. Historical and Cultural Context

美術／文化史

## 4. Aesthetic Valuing

美学と美術的価値

(美術を取り巻く社会、文化環境)

## 5. Connections, Relationships, and Applications

美術と他学科との総合的関連性

## 2-2) カリフォルニア州における美術教育内容

### 1994年更新時のスタンダード:

(a) 美術教育、美術教育関連学科を少なくとも30学期単位履修すること

- Art history (美術)
- Crafts (工芸)
- Ceramics (陶芸)
- Design (デザイン)
- Painting (絵画)
- Drawing (描画ドローイング)

(b) 美術教育を深く理解するためのコースを最低15学期単位履修すること

### 2004年更新の最新スタンダード:

(a) 美術教育、美術教育関連学科を最低36学期単位履修すること

- Two dimensional art (二次元アート)
- Three-dimensional art (三次元アート)
- New and emerging art (新アート)
- Media art (メディアアート)
- Art history (美術史)
- Art criticism (美学批評)
- History and theories of learning in art (美術教育学理論—教育史、発達論等)

(b) 美術教育を理解するためさらなるコースを最低12学期単位履修すること





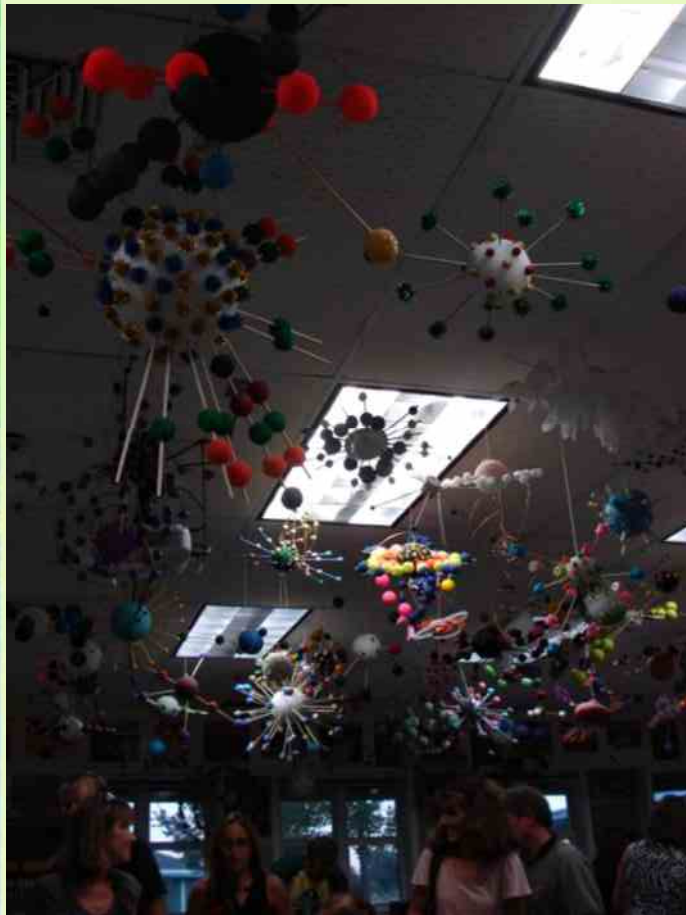
## 2019年カリフォルニア州スタンダード (Performing and Visual Arts)

- **Introduction to the California Arts Standards**  
*Dance, Media Arts, Music, Theatre, Visual Arts*

*“A bird doesn’t sing because it has an answer, it sings because it has a song.”*

*~Maya Angelou (1928-1989), American author, poet, singer, Civil Rights advocate, and recipient of the Presidential Medal of Freedom*

# 追記情報：現場における美術教育の現状： “Education through Art (by Read)”



(写真は中学の化学の授業。分子構造をカラフルに作成。)

- 米国では課題授業が多く、アートを通しての教育はアメリカの特徴。すべての学科の中で「ものづくり(アートの)方法」で学ばせる傾向あり。
- K-6(幼稚園-6thG)において、図画工作は、2週間に一度(3-4時間集中的に)、専門の美術教師によって、スタンダードにそったカリキュラムで指導される。(美術教師は学校を持ち回ることが多い。)
- 7-12(中学&高校)において、美術は選択科目の一つ。ただし選択した場合、毎日美術の授業が実施。  
(大きな高校の場合、美術教師はその専門によって数人いる場合がある。)



### 3. 米国における鑑賞教育の現状： 大学一般教養コースの定番 「鑑賞教育 (Art Appreciation)」



*Visual Culture & Literacy:  
Multicultural Perspectives in Art Appreciation  
(Toku, 2011 @Kensall Hunt Publishing)*



# 「鑑賞教育」とは何？

- 米国の大学教育において、「鑑賞教育 (Art Appreciation)」は一般教養コースの一つとして定着しており、「ビジュアルリテラシー (Visual Literacy)能力」を高めることを目的に広く展開されていることが多い。

# 「ビジュアルリテラシー (Visual Literacy) 能力」とは何？

- 1) 視覚芸術(美術)を元にその価値を理解する能力
- 2) 視覚芸術を元に、自分自身の嗜好(好き嫌い)の原因がどこから来ているのかを発見理解する能力

**"I like this or that painting." You need to be able to recognize why you like it, how it communicates to you. This ability is give the name, "Visual Literacy."**

**("World of Art" by Sayer)**

## 米国の大学における鑑賞教育の目的とは？

- 鑑賞教育コースの目的: ヴィジュアルアートを通して、学生の鑑賞能力(観察力、明確に表現する力、批評思考力等)を高めることを目的とする。
- “Art 100 is designed to develop students’ appreciation of art including observation, articulation, and critical thinking skills through visual arts. Also, this course is designed to fulfill **General Education C-1 requirements** in the basic study of visual arts, which is to provide student opportunities to develop understanding of human creativity, arts, values, and reasoning. PPT lectures, related readings in the text, art activities and virtual museum visits will focus upon visual thinking strategy as a communicative tool. “ (Toku’s course syllabus of Art100: Art Appreciation)



藝術鑑賞教育學教科書目次：  
Content of Visual Culture & Literacy (by Masami Toku, 2013)

The image shows a screenshot of a website for the textbook "Visual Culture and Literacy" by Masami Toku. The website has a purple header with navigation links: Account, Internal Messages, Print, Help, Logout, and a search bar. The main content area features a collage background with a large circular image of a Mayan or Aztec stone mask. The text on the page includes "SECOND EDITION", "VISUAL CULTURE and LITERACY", "ART APPRECIATION FROM MULTICULTURAL PERSPECTIVES", and "MASAMI TOKU". Below the main content is a purple navigation bar with links: WELCOME, CHAPTERS, GLOSSARY, DISCUSSION TOPICS, FAQ, and GRADE BOOK. Underneath, there is a "» Chapters »" section with a "Choose Page" dropdown menu. The main content area displays five parts of the book, each with a circular icon, a title, and a button to "Enter Part X".

Account Internal Messages Print Help Logout Search

SECOND EDITION

**VISUAL CULTURE and LITERACY**

ART APPRECIATION FROM MULTICULTURAL PERSPECTIVES

MASAMI TOKU

WELCOME CHAPTERS GLOSSARY DISCUSSION TOPICS FAQ GRADE BOOK

» Chapters » -- Choose Page --

**Part I**  
Visual Culture and Literacy  
Enter Part I  
Chapter 1

**Part II**  
Artistic Perception: Elements of Art and Principles of Design  
Enter Part II

**Part III**  
Creative Expression: Diverse Media and Processes  
Enter Part III

**Part IV**  
Cultural and Historical Contexts in the Visual Art World  
Enter Part IV

**Part V**  
Aesthetic Valuing in the Visual World  
Enter Part V  
Chapter 18



## 4. NPOアマミーナ活動 奄美から世界へ & 世界から奄美へ:



徳 雅美

カリフォルニア州立大学チコ校

# 「コミュニティカレッジ構想」

- 「NPOアマミーナ」の最終ゴール
- 日本内外の大学と協力関係を作り、奄美学(奄美関連テーマ)の主題を中心に生涯学習としての「学びの場」を作ること。
- 奄美大島に「離島地域活性化&海外との文化的財産交流」の2つの目的を持つ、日本初のコミュニティカレッジ(日米大学共同のサテライトキャンパス)の設立。

# 地域型生涯教育学習の場： 「コミュニティカレッジ」とは？

「コミュニティカレッジ」はその名の通り「地域大学」で、基本的に2年制大学であるが、日本における短大とは異なる大きな役割がある。

1. 生涯学習の場：「学びたいという気持ち：いつでもどこでもいつまでも」をモットーに生涯教育の場としての役割
2. 専門資格習得の場：短大卒同様にその専門分野における「準学士号」を取得。
3. 4年大学の3年へ編入する高等教育の場：2年間の学習の後、4年生大学の3年に編入。
- \* 4. 海外の大学への編入を目的とした高等教育の場：奄美コミュニティカレッジにおいては、新たに奄美と海外を直接結ぶ教育&文化交流ルート(留学)の設立が4つ目のそして最大の目的。



# 目的1.生涯学習の場

- 「ゆりかごから墓場まで」また「学びたいという気持ち:いつでもどこでもいつまでも」をモットーに「生涯教育センター」としての役割。
- (現在奄美各地の公民館などが実施している「生涯学習講座」がこれに当たる。)



## 目的2. 専門資格習得の場

- 日本のように短大卒の「準学士号」の取得をとることができる。
- 例えば「奄美看護福祉専門学校」のプロフェッショナルな実践的な資格がとれる高等専門学校的な役割を持つ。

## 目的3. 4年大学の3年へ編入する高等教育の場

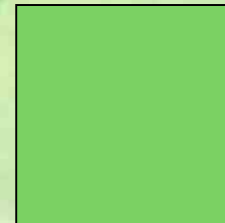
- 2年間の基礎学習（一般教養修了）後、4年生大学の3年に編入するための基礎学習の場としての役割。
- つまり4年大学の1年&2年生レベルで学ぶ一般教養科目を修了し、4年大の3年生レベルへの編入に目的を特化。

## \* 目的4. 海外の大学への編入を目的とした高等教育の場

- 先の3つの役割り・目的の他に、奄美と海外を直接結ぶ「留学ルート」確立も奄美における「コミュニティカレッジ」における重要な役割を担う。
- (例えばカリフォルニア州立大学23校への留学&編入が可能)



## 5. 描画&美意識の発達論： Universality vs. Cultural Specificity



# Universality vs. Cultural Specificity in Artistic Development

## 描画の発達論における普遍性と特異性

- 文化や社会的背景の差に関わらず、発達は直線性を示す
- Regardless of cultural background, gender, etc., artistic development shows a linear progression (e.g. Piaget, Lowenfeld)
- 子どもはある一定の年齢に達するとアート(作成)に対する興味を失う
- Children lose their interest in art at certain ages (e.g. Read)
- 直線的に発達するとは限らない。
- Artistic development does not always show a linear progression (e.g. Efland, Kindler)
- 子供はある成長する過程においてアート(作成)に対する興味を失うとは限らない。
- Children do not always lose their interest in art (e.g. Wilson, Toku)

# Children's Artistic Development Theory

## こどもの描画の発達段階説と現状

### 普遍的傾向説

#### ローウエンフェルドの発達段階説

(ピアジェの影響)

1. Scribble (2-4): 落書き時代
2. Preschematic (4-6): 前スキーマ
3. Schematic (7-9): スキーマ
4. Gang age (Dawn of Realism: 9-11): ギャング時代
5. Pseudo-naturalistic (11-13): 似非リアリズム時代
6. Adolescent (Naturalistic: 14-17): 青少年期時代

ガードナーのU字型からL字型発達論

### 文化的多様性説

- Arther Efland (エフランド)
- Brent Wilson (ウィルソン)
- Ann Kindler (キンドラー)

#### 普遍的傾向説の弱点

1. 方法論に欠点がある
2. 直線性はみとめられない
3. 文化的社会的影響により差
4. その他



# こどもの描画の発達段階説と現状

## (普遍性と文化的特異性)

### Universality: Lowenfeld's Stage Theory

普遍的傾向説:

#### ローウエンフェルドの発達段階説

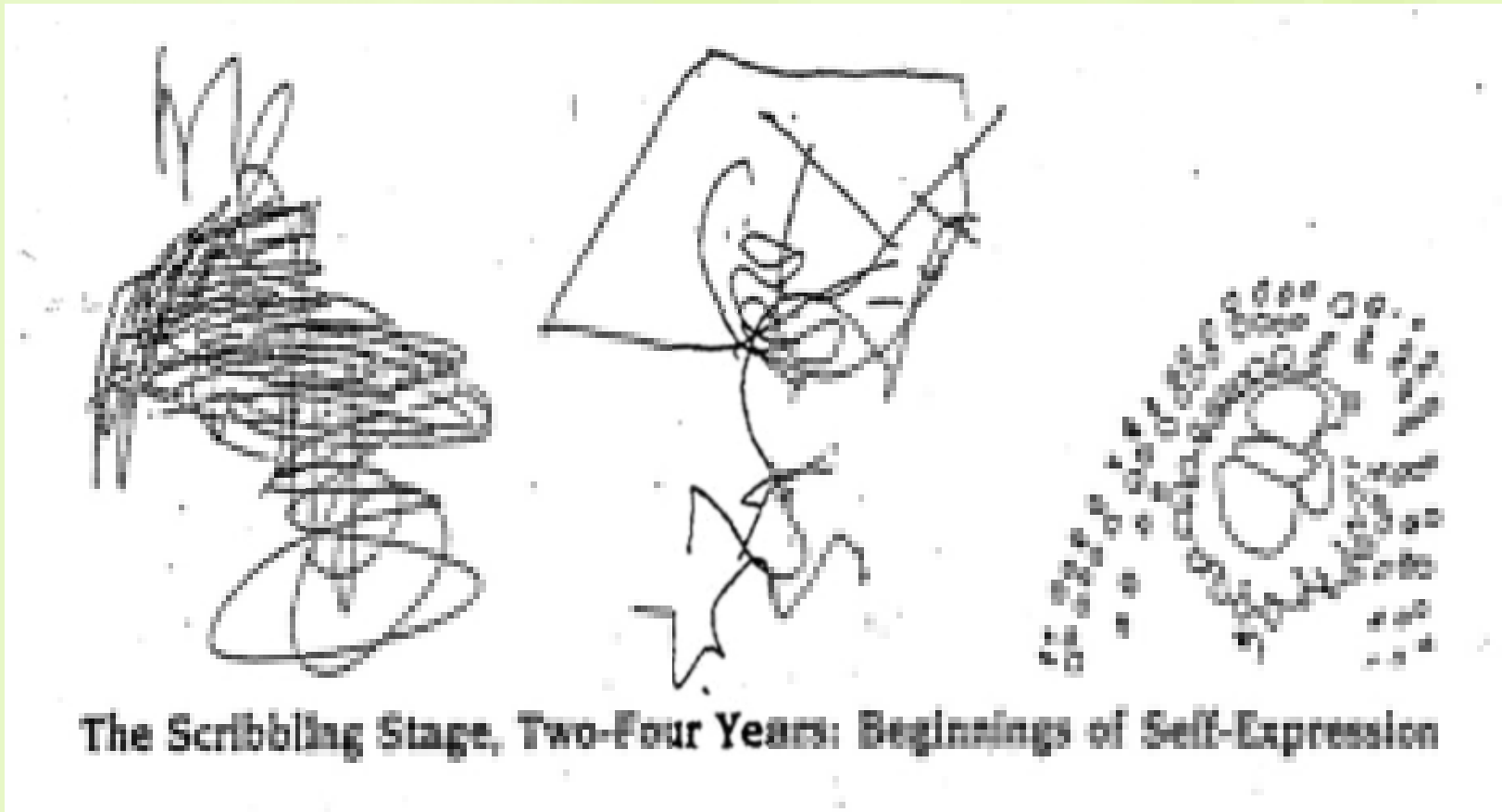
1. なぐり書き時代 (Scribble Period: 2-4)
2. 前スキーマ (Preschematic : 4-6)
3. スキーマ (Schematic: 7-9)
4. ギャング時代 (リアリズムの夜明け)  
(Gang age (9-11))
5. 似非リアリズム時代  
(Pseudo-naturalistic: 11-13):
6. 青少年期時代  
Adolescent (Naturalistic: 14-17)

### Weaknesses of the theory of Universality

#### 普遍的傾向説の弱点

1. Research Methodology  
方法論に欠点がある
2. No linear progression  
直線性はみとめられない
3. Cultural & Social impacts in children's artistic & cognitive developments  
文化的社会的影響により差
4. Others (e.g. What & when is the final level in CAD?)  
その他 (最終レベルは本当に写実的に描くことなのか?)

# Period 1. なぐり書き/いたずら書き時代: Scribble Period (2-4)

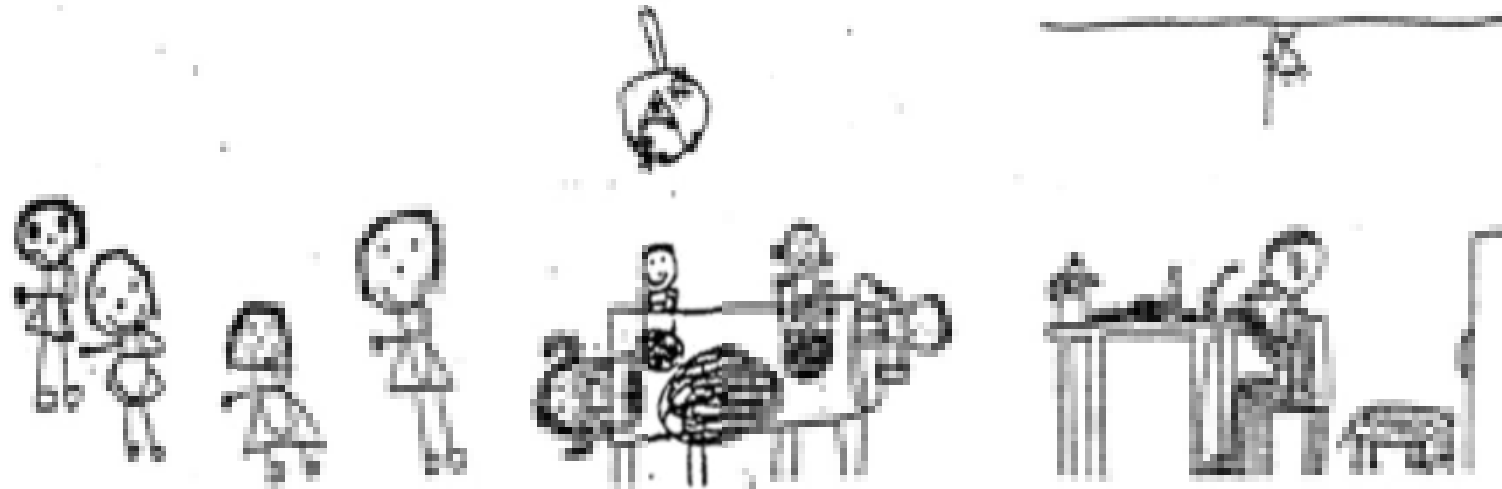


## Period 2.前スキーマ: Pre-schematic period (4-6)





## Period 3.スキーマ: Schematic period (7-9)



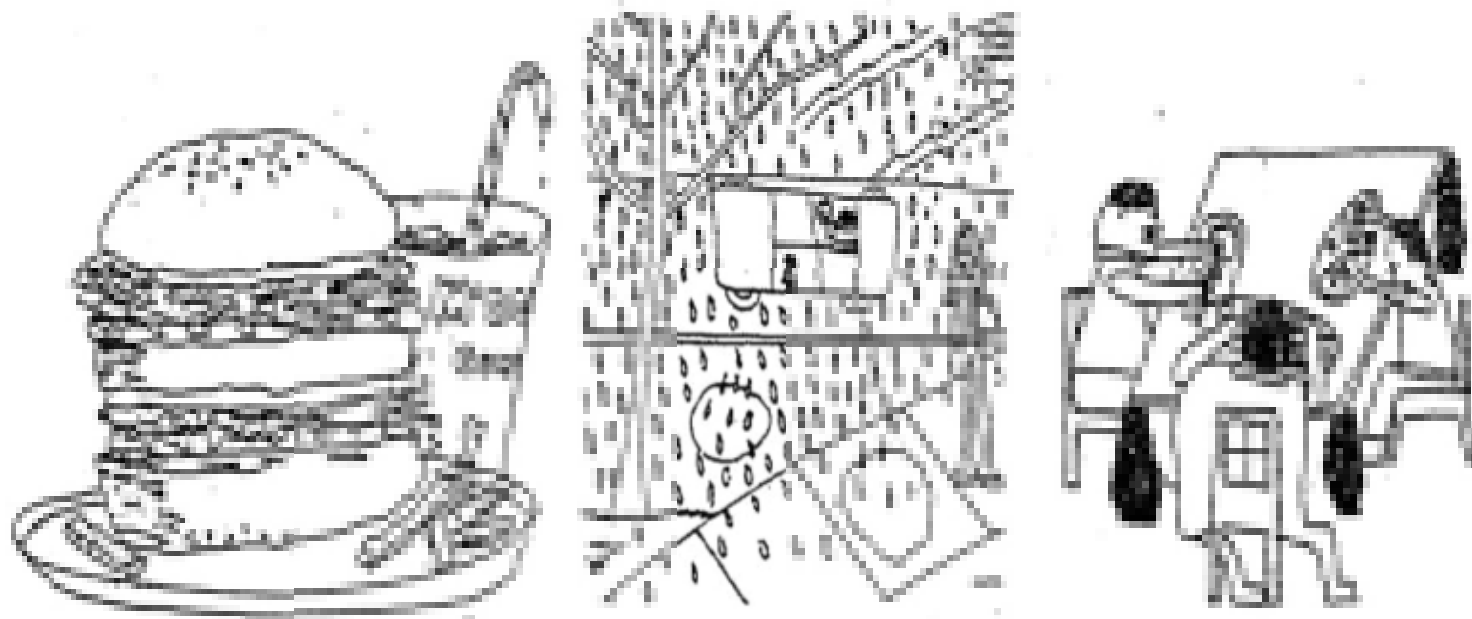
**The Schematic Stage, Seven-Nine Years:  
The Achievement of a Form Concept**

## Period 4. ギャング時代 (リアリズムの夜明け)

: Dawn of Realism/Gang age (9-11)



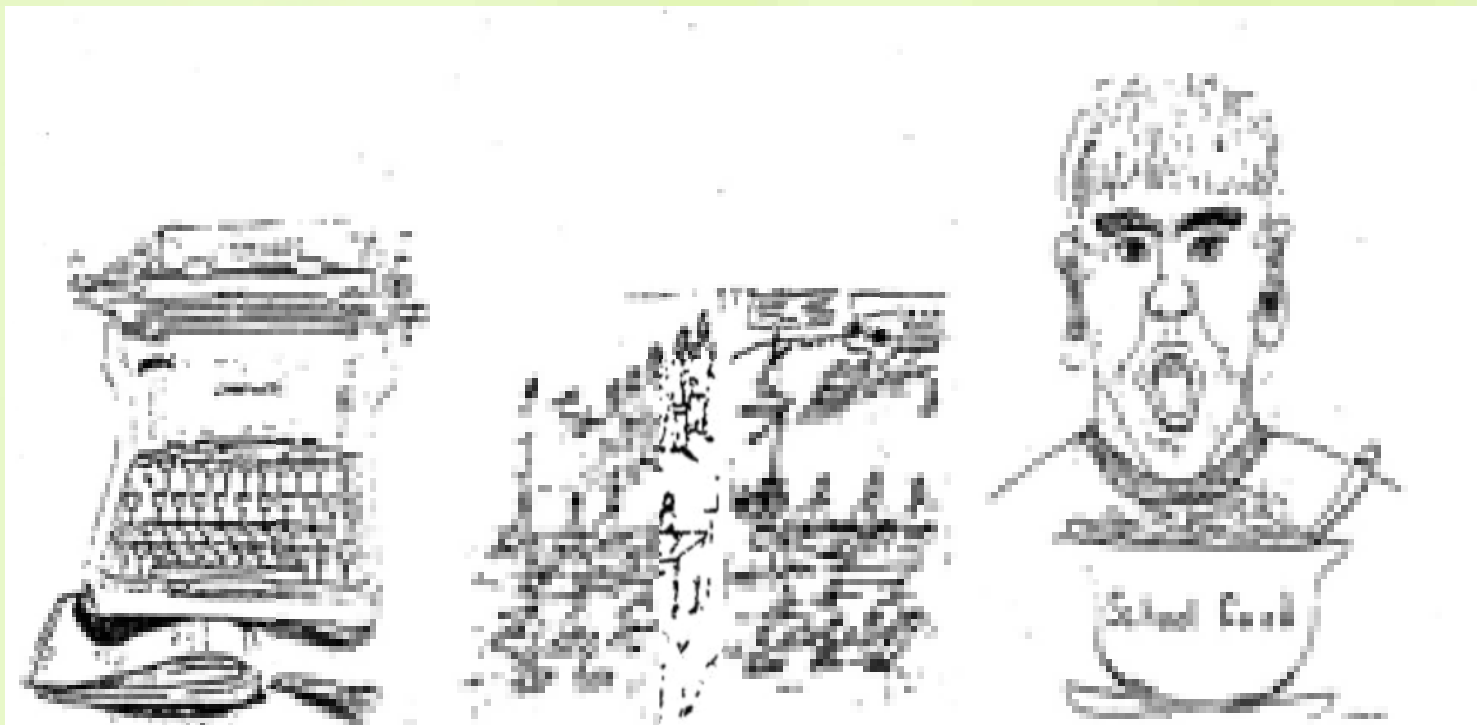
## Period 5. 似非リアリズム時代 : Pseudo-naturalistic period (11-13)



The Pseudo-Naturalistic Stage, Twelve-Fourteen Years:  
The Age of Reasoning



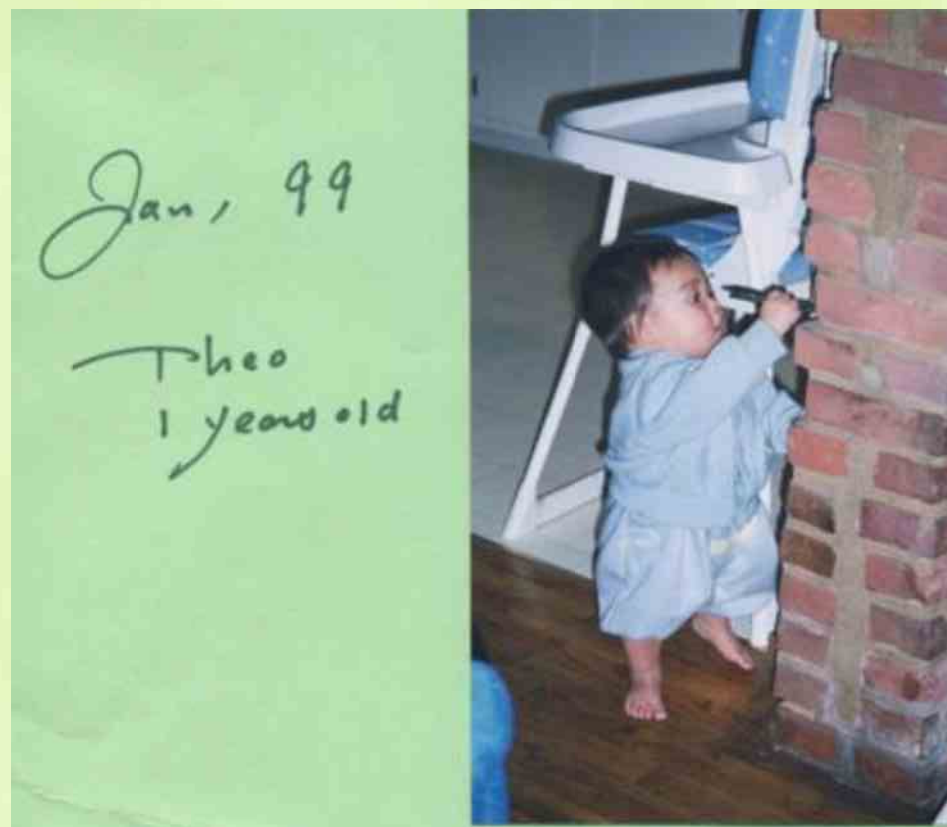
## Period 6. 青少年期時代： Adolescent (Naturalistic: 14-17)



Adolescent Art, Fourteen-Seventeen Years:  
The Period of Decision

# ケーススタディ: Theo's Case Study (1-12 yrs. old)

- どのように絵を描き始めたのか？
- 普遍的傾向か？  
それとも文化的傾向の方が強いのか？
- もしくは混合型？



# いたずら書き時代



Theo 2 & a half yrs

# おたまじゃくし人間



おたまじゃくし人間 (Tadpole man)  
October 4, 2001 (Theo 2 & 11 months)



## 美意識による削除？

お目め？お鼻はどこ？どういう  
風に描くの？ ママ教えて！  
(Theo 3 & a half yrs)

How to draw nose?

Do we need nose  
or not?

This is not beautiful  
at all!



# 子どもの描画に現れるポップカルチャーの影響



4 and a half yrs



ピーチューと海君 (2002年8月:4才半)

ぼく(男子)の大好きなテーマ (^\_^)! My Favorite Themes!



6 yrs.

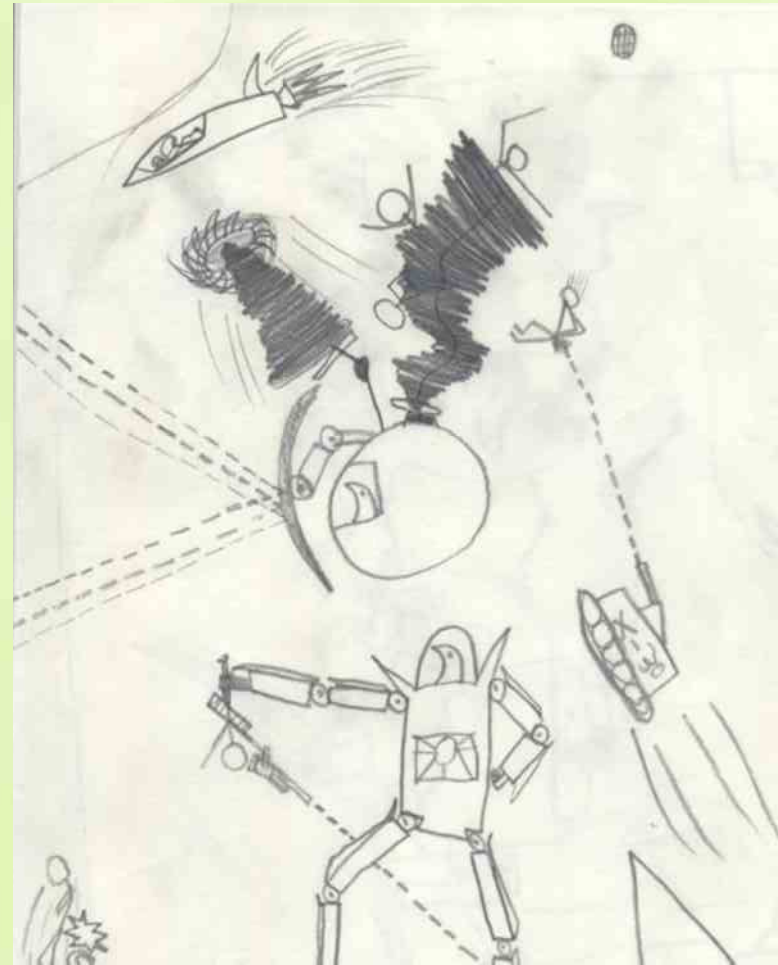
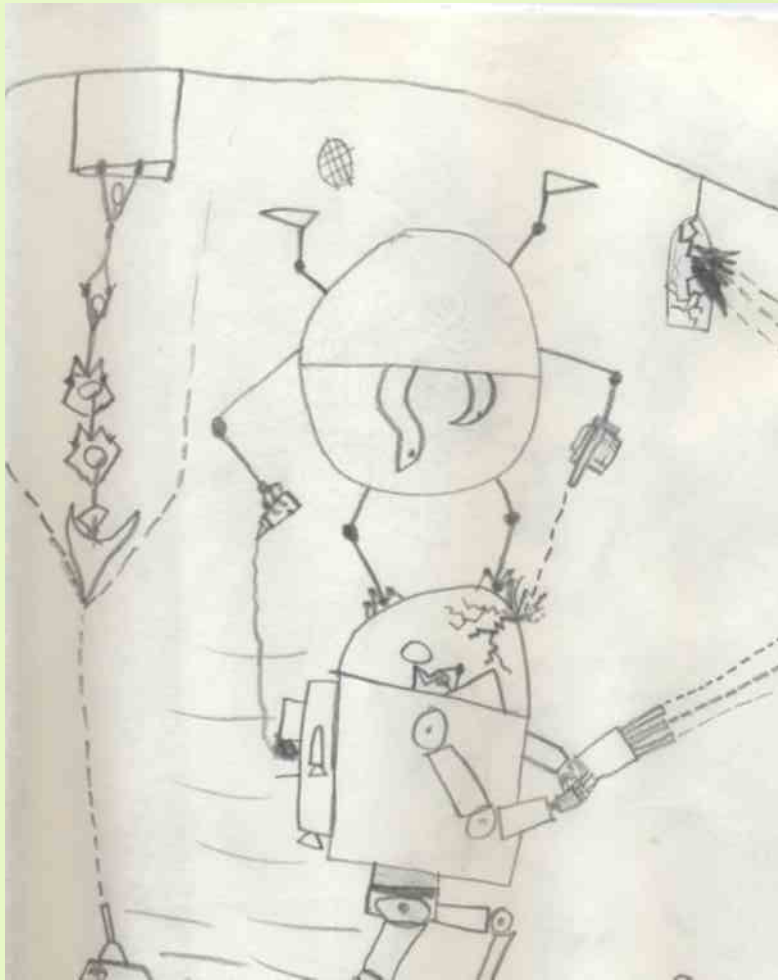


ぼくドラゴンをいろいろ描けるよ！：  
**Cool vs Cute** I can draw my dragons in different ways!



7 yrs.

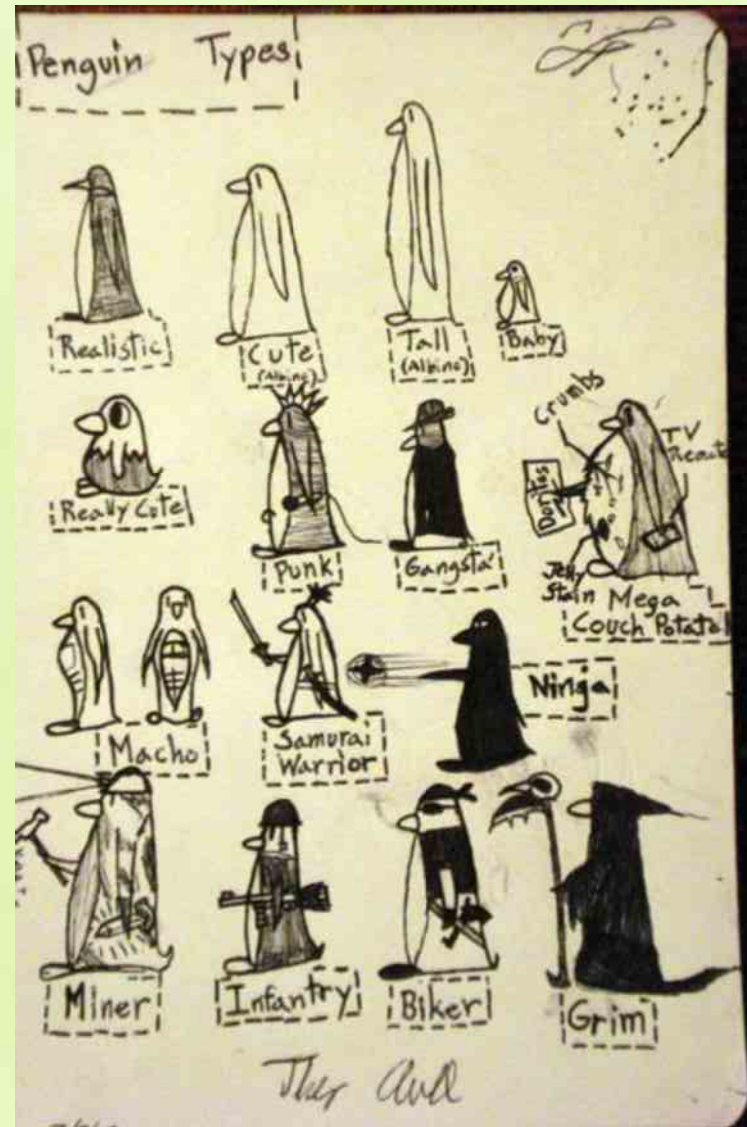
# 虫の世界: **My story book: Worm world (7 - 9 yrs)**





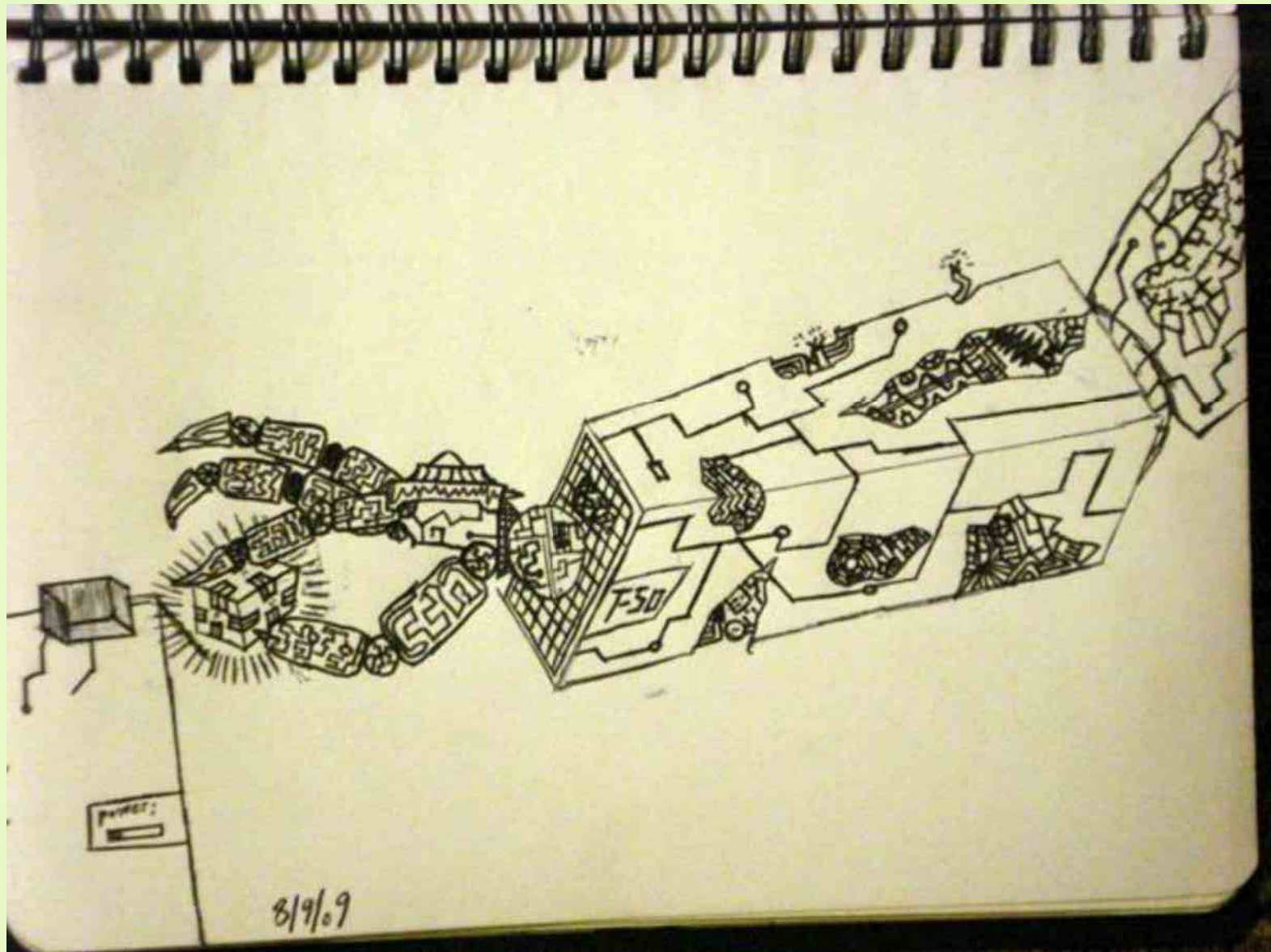
# ペンギンの世界:

## My Notebook now with Penguins (9-11yrs)





メカ時代: My note book now: Detail, detail, and ...



# こどもの描画に現れるマンガの影響

## Manga's Influences in Children's Drawings in Japan



# マンガ vs. Comics ?

## Issues in Manga

- マンガの文化的歴史的背景とは何か?
- マンガの特徴とは何? (文法と構成方法 / 主題テーマ / 等々)
- 子供たちはなぜマンガに魅了されるのか?
  - (視覚言語表現)
  - (物語性)
- 視覚文化社会におけるマンガの影響とは何か?
  - 商品 (おもちゃ、児童書、ファッション、等.)
  - その他周辺 (テレビ、映画、広告、教科書、等.)
- 美術教育カリキュラムの中にマンガの要素を取り入れることは可能か?



# 日本の美術教育における マンガ (Visual Pop-culture) カリキュラムの可能性

- 1998年度、当時の文部省は漫画、アニメーション等 (Visual Pop-culture) を美術教育カリキュラムに入れることを推奨。
- 2002年度から実質スタート。



## 6. 世界巡回少女漫画展示会 (2005 ~ 現代) Shojo Manga! Girl Power!

- 少女漫画を通して日本の漫画の特徴とその価値を紹介することを目的として、2005年より北米巡回展示会開始。
- 2018年現在において、7カ国30箇所で開催会(スピンオフ展示会含)実施。
- 2019年よりブラジル巡回予定。



少女マンガ展示会図録表紙より  
(ベルサイユの薔薇, 1972-74  
池田理代子作)